

# Solan Big Thinkers

## せんせい、あのね

せんせい、あのね。きょうは、すいぞくかんに行ったよ。イルカのショーをみたよ。ブルーガのおかあさんのおなかにあかちゃんがいたよ。もうすぐ、うまれるよ。たのしかったよ。

きょうは、SOLANでおにごっこをしました。おうちにかえったら、あしたのじゅんびをしました。そして、おふろにはいりました。そして、マーボードウフをたべました。おいしかったです。

あのね帳をはじめて、2週間が経ちました。提出回数はそれぞれです。毎日、書いてくる子。1週間に数回書いてくる子。1週間に1回書いてくる子。いろいろです。1週間に1回は書いてほしいと思っていますが、

**「書きなさい」ではなく、「書きたい」と思える状態にしたいと考えています。**

そのためには先生からのコメントは大切な要因の1つだと思っています。日記の内容に「どう思った?」「どういう味だった?」などと「?」をつけたコメントを返すこともあります。すると、それに対する回答が次の日に書き添えられていることがあります。まるで交換日記をしているかのようです。

こういう状態になってくると、「今日も書こうかな」という思いになっていくのだらうと思います。書くことに慣れてきたのか、書くことが楽しいのか、追加でお手紙をもらうことが時々あります。

さて、有田和正という教育界の先人がいます。その方が「1年担任の条件」というものを示されたことがあります。そのうちの一つが次です。

## 子どもに手紙を書くことを楽しむ教師

文章でのコミュニケーションも楽しんでいこうと思います。

